

平成 29 年度
(平成28年度事業)

教育行政事務の管理及び執行の状況
に関する点検・評価報告書

赤平市教育委員会

目 次

はじめに	1
教育委員会の活動状況等	1
1 教育委員会の会議開催状況	1
2 奨学資金貸付状況	4
3 教育費の決算状況	5
点検・評価について	6
1 点検・評価の目的	6
2 点検・評価の対象	6
3 点検・評価の視点、方法	6
◎点検・評価重点施策事業一覧	7
Ⅰ 学校教育の充実	
① 学力向上対策	8
② 体力向上対策	9
③ フッ化物洗口	10
④ 安全安心な学校給食の提供	11
⑤ いじめ未然防止	12
⑥ 不登校への対応と未然防止	13
⑦ 特別支援教育	14
⑧ 小・中学校適正配置計画の推進	15
⑨ 高校通学費等助成	16
⑩ 奨学資金貸付金返還免除	17
⑪ ICT活用教育	18
Ⅱ 社会教育の推進	
① 青少年教育	19
② 出前講座	20
③ 社会教育施設等の充実	21
④ 文化財保護	22
⑤ 図書館の運営と読書活動	23
⑥ 体育、スポーツ活動	24
《資料》教育施設利用状況	25

はじめに

平成19年6月の地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正により、教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会へ提出するとともに、公表することが規定されました。

この報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき、作成したものです。

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

教育委員会の活動状況等

1 教育委員会の会議開催状況

【教育委員会委員】

平成29年3月31日現在

役 職	氏 名	就任年月日	任 期
教育長	多 田 豊	平成24年10月1日	平成28年10月1日 ～平成31年9月30日
委員（職務代理者）	山 本 由美子	平成24年2月1日	平成28年2月1日 ～平成32年1月31日
委員	瓜 郁 夫	平成24年10月1日	平成28年10月1日 ～平成32年9月30日
委員	坪 谷 嗣 香	平成23年7月1日	平成25年10月1日 ～平成29年9月30日
委員	高 澤 司	平成28年4月1日	平成28年4月1日 ～平成32年3月31日

赤平市教育委員会の会議は、概ね月一度開催しております。5名の教育委員が教育行政の基本方針、規則の制定・改廃などを審議しており、また、本市の教育を取

り巻く状況等の報告を受け、その問題点と対応などについても協議しております。

開 催 日	付 議 案 件 等
平成28年4月28日	【報告】 報告第1号 教育長報告 報告第2号 教育委員会企画員の委嘱について 報告第3号 赤平市立学校評議員の委嘱について
平成28年5月31日	【報告】 報告第1号 教育長報告 【議案】 議案第1号 平成28年度一般会計補正予算に係る意見の申出について 議案第2号 平成28年度赤平市人材育成・定住促進奨学生の決定について
平成28年6月30日	【報告】 報告第1号 教育長報告 【議案】 議案第1号 平成28年度赤平市人材育成・定住促進奨学生の決定について
平成28年7月29日	【報告】 報告第1号 教育長報告 【議案】 議案第1号 平成28年度一般会計補正予算に係る意見の申出について 議案第2号 赤平市立幼稚園条例施行規則の一部改正について
平成28年8月29日	【報告】 報告第1号 教育長報告 報告第2号 赤平市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について 【議案】 議案第1号 事務局職員の任免について 議案第2号 平成28年度一般会計補正予算に係る意見の申出について

開催日	付議案件等
	議案第3号 工事計画の策定について 議案第4号 平成28年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について
平成28年9月8日	【議案】 議案第1号 平成28年度一般会計補正予算に係る意見の申出について
平成28年9月29日	【報告】 報告第1号 教育長報告 報告第2号 学校給食における食物アレルギー対応の指針策定について
平成28年10月31日	【報告】 報告第1号 教育長報告 報告第2号 教育長職務代理者の指定について 【議案】 議案第1号 赤平市教育委員会事務局組織規則の一部改正について 議案第2号 赤平市立小・中学校適正配置計画（平成24年度から平成33年度）の変更について 議案第3号 平成28年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について
平成28年12月1日	【報告】 報告第1号 教育長報告 【議案】 議案第1号 平成28年度一般会計補正予算に係る意見の申出について 議案第2号 赤平市立学校管理規則の一部改正について
平成28年12月27日	【報告】 報告第1号 教育長報告 【議案】 議案第1号 赤平市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に関する点検・評価について

開 催 日	付 議 案 件 等
平成29年1月30日	【報告】 報告第1号 教育長報告 【議案】 議案第1号 赤平市立学校管理規則の一部改正について 議案第2号 赤平市立学校職員服務規程の一部改正について
平成29年2月23日	【報告】 報告第1号 教育長報告 【議案】 議案第1号 平成28年度赤平市一般会計補正予算に係る意見の申出について 議案第2号 平成29年度赤平市一般会計予算に係る意見の申出について 議案第3号 平成28年度赤平市教育行政執行方針について
平成29年3月10日	【議案】 議案第1号 市内小・中学校教職員の任免について
平成29年3月29日	【報告】 報告第1号 教育長報告 【議案】 議案第1号 事務局職員の任免について 議案第2号 赤平市立小・中学校適正配置計画（平成24年度から平成33年度）の変更について【確定】 議案第3号 平成29年度教育施設整備に係る工事計画の策定について

2 奨学資金貸付状況（人材・定住促進奨学資金）

赤平市に定住を志向する有為な人材の育成及び確保を目的とし、優良な生徒・学生であって経済的な理由により修学が困難な者に、学業に必要な資金（奨学金）を貸与する。

【平成28年度 該当者～17名】 申請者17名（貸付決定17名，貸付不可0名）

3 教育費の決算状況

平成28年度教育費決算総額は6億1,809万8,646円で、一般会計に占める教育費の割合は6.7%となっております。これは統合中学校建設工事に関する大規模な事業が行われたため、昨年度の割合を上回る事となっております。

また、各項別の支出額と教育費に占める割合は次のとおりです。

款	項	支出額	割合
教育費		618,098,646 円	100.0%
	1. 教育総務費	77,147,612 円	12.5%
	2. 幼稚園費	13,055,886 円	2.1%
	3. 小学校費	62,372,965 円	10.1%
	4. 中学校費	335,295,444 円	54.3%
	5. 社会教育費	49,071,125 円	7.9%
	6. 保健体育費	47,688,707 円	7.7%
	7. 学校給食費	33,466,907 円	5.4%

点検・評価について

1 点検・評価の目的

教育委員会では、法に基づく点検及び評価を行い、市民の皆様にも、教育に関する事務の管理及び執行の状況について説明責任を果たすとともに、今後の施策・事業の展開等に活用し、より一層効果的な教育行政の推進を図ることを目的とします。

2 点検・評価の対象

平成29年度の点検・評価対象は、平成28年度教育行政執行方針に掲げている、教育行政が目指す基本的な取り組みを行うための重点施策事業としました。

◎点検・評価重点施策事業一覧（7ページ）のとおり

3 点検・評価の視点、方法

教育委員会では、この事業について、達成度・効果度の観点から、4段階（※下記評価基準A）により点検・評価し、課題・改善策など今後の取組も併せて、5段階の総合評価（※下記評価基準B）を行い、「教育行政事務の管理及び執行の状況に関する点検・評価報告書」を作成しました。

※評価基準A

評価記号	評価	評価基準
A	順調	<ul style="list-style-type: none"> ・効果的で優れた取組を行った ・目標の達成に向け大きな成果をあげた ・事務事業として大きな成果をあげた ・問題点や課題がない
B	おおむね順調	<ul style="list-style-type: none"> ・効果的な取組を行った ・目標の達成に向けて一定の成果をあげた ・事務事業として一定の成果をあげた ・大きな問題点や課題がない
C	見直し・改善	<ul style="list-style-type: none"> ・取組を行った ・目標の達成に向けて多少の成果をあげた ・事務事業として多少の成果をあげた ・問題点や課題がある
D	休止・廃止の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・取組を行わなかった ・目標の達成に向けて成果があがらなかった ・事務事業として成果はあがらなかった ・大きな問題点や課題が残った

※評価基準B

評価記号	総合評価
①	拡 充
②	継 続
③	一 部 改 善
④	大 幅 改 善
⑤	休 止 ・ 廃 止

また、教育委員会が行った活動状況や施策・事業等の実施状況についての点検及び評価の客観性を確保するとともに、今後の取り組みに向けた活用を図るため、教育に関し学識経験を有する方から、点検及び評価に関する意見や助言をいただきました。

◎点検・評価重点施策事業一覧

大項目	所管	点検・評価重点施策事業	達成度	効果度	総合評価
学校教育の充実	学校教育課	1 学力向上対策	C	B	①
		2 体力向上対策	C	B	①
		3 フッ化物洗口	B	A	②
		4 安全安心な学校給食の提供	B	B	②
		5 いじめ未然防止	C	B	②
		6 不登校への対応と未然防止	C	B	②
		7 特別支援教育	B	B	①
		8 小・中学校適正配置計画の推進	A	A	②
		9 高校通学費等助成	A	A	②
		10 奨学資金貸付金返還金免除	A	B	②
		11 ICT活用教育	A	B	②
社会教育の推進	社会教育課	12 青少年教育	C	B	③
		13 出前講座	B	B	②
		14 社会教育施設等の充実	B	B	②
		15 文化財保護	B	B	②
		16 図書館の運営と読書活動	B	B	②
		17 体育，スポーツ活動	C	B	②

平成 28 年度 事務事業点検評価シート

大項目	学校教育の充実	所管課係名	学校教育課学校教育係	
事業名称	学力向上対策			
年度目標	目標値	*数値目標がある場合記入 全国学力・学習状況調査における教科に関する全ての調査において、全国の平均正答率を目指す。		
	目的	知識や技能はもちろんのこと、これに加えて、学ぶ意欲や自分で課題を見付け、自ら学び、主体的に判断し、行動し、よりよく問題解決する資質や能力等を身につけるため。		
実績	実績値	*数値目標がある場合記入 全国学力・学習状況調査における教科に関する全ての調査において、全国の平均正答率を下回る。		
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ○学力向上プランの作成、実施、住民周知 ○教職員の加配(道費)による少人数指導の実施(茂尻小・赤間小) ○標準学力検査、知能検査の実施 ○長期休業中、放課後における補充学習の実施 ○地域の学力支援事業(道が実施)活用による教職員研修、授業実践 		
事業費 (決算額)	平成 28 年度	* 参 考	平成 27 年度	平成 26 年度
	標準学力, 知能検査 621 千円		標準学力, 知能検査 681 千円	標準学力, 知能検査 558 千円

項目別点検評価 (*評価基準～A:順調 B:概ね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	C	各種施策は実施したが、結果として全国平均を下回った。
効果度	B	各種施策の実施により、学力向上の機運は高まりつつある。
今後の取組		
課題	各種施策の実施により、市全体としての学力向上への機運は高まってきているが、結果に結びついていないのが現状。	
改善策	長期休業中や放課後における、学生ボランティアや学習サポートを充実させるとともに、結果公表を通して学力向上への協力を依頼しながら、保護者等のさらなる意識改革を図る。	

総合評価 (*評価基準～①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
①	理由: 最重要の課題であるため、更に拡充, 継続して各種施策に取り組む。

平成 28 年度 事務事業点検評価シート

大項目	学校教育の充実	所管課係名	学校教育課学校教育係	
事業名称	体力向上対策			
年度目標	目標値	*数値目標がある場合記入 全国体力・運動能力, 運動習慣等調査における結果について, 全体として全国平均を目指す。		
	目的	教育委員会, 学校等が各児童生徒の体力や運動習慣, 生活習慣, 食習慣を把握し, 学校における体育・健康に関する指導を通して改善を図る。		
実績	実績値	*数値目標がある場合記入 全国体力・運動能力, 運動習慣等調査における結果について, 一部平均を上回る項目はあったが, 全体として全国平均を下回った。		
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ○新体力テストの実施。 ○一校一実践の奨励。 ○体力向上の検討組織として体力向上委員会設置。 ○体力向上プランの作成, 実施 		
事業費 (決算額)	平成 28 年度	* 参 考	平成 27 年度	平成 26 年度
	0 千円		0 千円	0 千円

項目別点検評価 (*評価基準~A:順調 B:概ね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	C	各種施策は実施したが, 全体として全国平均を下回っている。
効果度	B	各種施策の実施により, 一部の学年・種目において改善が見られる。
今後の取組		
課題	全国, 全道平均に届かない種目の改善。	
改善策	専門指導者における指導や, 運動の楽しさを知ってもらうための取組みを家庭をつうじ実施していく。	

総合評価 (*評価基準~①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
①	理由: 重要課題の一つであるため, 専門指導者の派遣など新たな施策に取り組む。

平成 28 年度 事務事業点検評価シート

大項目	学校教育の充実	所管課係名	学校教育課学校教育係
事業名称	フッ化物洗口		
年度目標	目標値	* 数値目標がある場合記入 小学校の実施割合90%, 中学校実施割合80%	
	目的	児童・生徒のむし歯予防のため。	
実績	実績値	* 数値目標がある場合記入 小学校の実施割合94%, 中学校実施割合80%	
	内容	市内小・中学校でのフッ化物洗口(週1回)の実施 ・茂尻小 83名(実施割合 95%) ・豊里小 70名(実施割合 93%) ・赤間小 164名(実施割合 93%) ・赤平中 34名(実施割合 79%) ・中央中 17名(実施割合 85%)	
事業費 (決算額)	平成 28 年度	* 参 考	平成 27 年度
	消耗品, 薬剤等 207 千円		平成 26 年度 消耗品, 薬剤等 203 千円
			平成 27 年度 消耗品, 薬剤等 149 千円

項目別点検評価 (* 評価基準～A:順調 B:概ね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	B	実施割合が92%で、ほぼ予定通り実施できている。
効果度	A	児童・生徒のむし歯予防に効果があると考えられる。
今後の取組		
課題	フッ化物洗口実施による効果等について、保護者等の理解が十分でない。	
改善策	フッ化物洗口実施による効果等を比較検証することは困難だが、有効性について周知に努める。	

総合評価 (* 評価基準～①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
②	理由: 実施による有効性について周知を行いながら継続実施する。

平成 28 年度 事務事業点検評価シート

大項目	学校教育の充実	所管課係名	学校教育課学校給食センター	
事業名称	安全安心な学校給食の提供			
年度目標	目標値	* 数値目標がある場合記入		
	目的	学校給食の普及充実及び学校における食育の推進を図ることを目的として、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第30条の規定に基づき、学校給食センターを設置し、児童・生徒に安全・安心な給食を提供する。		
実績	実績値	* 数値目標がある場合記入		
	内容	○給食の提供 ・給食日数 190日 ・提供食数 128,022食(前年度128,384食) ・バイキング給食の提供(各学校年1回) ・学校給食におけるアレルギー対応指針を策定 ・調理室にエアコンを設置し、衛生管理を強化 ○地産地消 ・地元の食材使用率17.36%(前年度19.67%)		
事業費 (決算額)	平成 28 年度	* 参 考	平成 27 年度	平成 26 年度
	学校給食センター費 33,467 千円		学校給食センター費 53,811 千円	学校給食センター費 38,563 千円

項目別点検評価 (* 評価基準～A:順調 B:概ね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	B	衛生管理の強化をしながら、安全安心な学校給食を提供した。
効果度	B	出来る限り地産地消を行いながら、おいしい給食の提供に努めた。
今後の取組		
課題	食材費の値上げにより、現在の給食単価での提供は困難になってきているので、公会計の移行に合わせて、給食費の値上げを検討する必要がある。	
改善策	公会計への移行を円滑に行う必要があるため、システムの導入など行う。	

総合評価 (* 評価基準～①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
②	理由: 地産地消を図りながら、安全安心な学校給食の提供を継続実施する。

平成 28 年度 事務事業点検評価シート

大項目	学校教育の充実	所管課係名	学校教育課学校教育係	
事業名称	いじめ未然防止			
年度目標	目標値	*数値目標がある場合記入 いじめ防止アンケートの質問項目「いじめは絶対に許されない」における「はい」の回答率が小学校90%以上, 中学校が80%以上		
	目的	いじめは, どの学校でも, どの児童生徒にも起こりうるという認識のもと, いじめの問題を根本的に克服するためには, いじめの未然防止が最も大切であるため。		
実績	実績値	*数値目標がある場合記入 いじめ防止アンケートの質問項目「いじめは絶対に許されない」における「はい」の回答率が, 小学校81.4%, 中学校が71.6%		
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ○いじめアンケートの実施による実態把握(年2回) ○「いじめ問題対策連絡協議会」の開催による関係機関の連携強化 ○「子ども会議」の開催による児童・生徒交流、事例発表 ○青少年センター専門指導員による学校訪問等 		
事業費 (決算額)	平成 28 年度	* 参 考	平成 27 年度	平成 26 年度
	委員報酬 13 千円		0 千円	0 千円

項目別点検評価 (*評価基準~A:順調 B:概ね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	C	各種施策は実施したが, 目標値を下回っているため, さらなる啓発活動等意識改革が必要。
効果度	B	「いじめ問題対策連絡協議会」の開催により, 関係機関の連携、情報共有等が図られた。
今後の取組		
課題	「いじめはダメ」ということが十分認識されていない。	
改善策	継続して訴えていく事, いじめに関する会議を通して理解してもらう。	

総合評価 (*評価基準~①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
②	理由: 重要課題であるため継続して取り組む。

平成 28 年度 事務事業点検評価シート

大項目	学校教育の充実	所管課係名	学校教育課学校教育係	
事業名称	不登校への対応と未然防止			
年度目標	目標値	*数値目標がある場合記入 不登校生徒への適切な対応や未然防止策により、不登校生徒割合を前年度に比して改善させる。		
	目的	生徒の・不登校・問題行動等の未然防止や早期発見・早期対応を図るとともに、取り巻く環境への働きかけなど、関係機関と連携しながら問題解決にあたる。		
実績	実績値	*数値目標がある場合記入 不登校生徒5名(前年度3名)		
	内容	○北海道派遣のスクールカウンセラー1名(道費208時間)による相談業務(各中学校) ○青少年センター専門指導員による学校訪問等 ○関係機関等の連絡、調整及びケース会議開催		
事業費 (決算額)	平成 28 年度	* 参 考	平成 27 年度	平成 26 年度
	0 千円		0 千円	0 千円

項目別点検評価 (*評価基準～A:順調 B:概ね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	C	各種施策は実施したが、目標値を下回っているため、早期における対応・対策が必要。
効果度	B	各関係機関との連携・情報共有を密にすることができた。
今後の取組		
課題	不登校, 問題行動の早期発見。	
改善策	学校と関係機関との連絡を活発に行い問題解決の糸口を探る。	

総合評価 (*評価基準～①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
②	理由: 重要課題であるため継続して取り組む。

平成 28 年度 事務事業点検評価シート

大項目	学校教育の充実	所管課係名	学校教育課学校教育係	
事業名称	特別支援教育			
年度目標	目標値	*数値目標がある場合記入 各小学校(赤間小2名)に特別教育等支援員を配置する。		
	目的	特別支援教育は、それぞれの児童生徒の状況に応じた学習環境の設定やきめ細やかな対応が必要であり、教員等の配置により学習・学校生活面の支援を行い、円滑な学校教育活動の遂行を図る。		
実績	実績値	*数値目標がある場合記入 赤間小2名は短時間勤務者の配置であったが、各小学校(赤間小2名)に特別教育等支援員を配置できた。		
	内容	○各小学校に支援員を配置 ○教育支援委員会の開催(3回) ○就学相談、就学指導		
事業費 (決算額)	平成 28 年度	* 参 考	平成 27 年度	平成 26 年度
	0 千円		0 千円	0 千円

項目別点検評価 (*評価基準~A:順調 B:概ね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	B	一部短時間勤務者の配置であったが、各小学校に支援員を配置した。
効果度	A	支援員の配置により、各種の学習・学校生活面の支援に効果があった。
今後の取組		
課題	発達障害児が増加傾向にあるため、就学時健診や就学指導の段階で、保護者理解も含め適切な指導が必要になってきている。 中学校にも特別教育等支援員を配置する。	
改善策	就学支援委員会のあり方や就学相談の体制づくりなど検討する必要がある。	

総合評価 (*評価基準~①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
①	理由: 重要課題の一つであるため、専門機関の受診や相談などの拡充が求められる。

平成 28 年度 事務事業点検評価シート

大項目	学校教育の充実	所管課係名	学校教育課総務係
事業名称	小・中学校適正配置計画の推進		
年度目標	目標値	*数値目標がある場合記入	
	目的	平成30年度の中学校統合に向け、実施設計・グラウンド整備等を行うとともに、小学校統合の具体的な時期も盛り込んだ「赤平市立小・中学校適正配置計画変更版(平成29年度～平成33年度)」を策定する。	
実績	実績値	*数値目標がある場合記入	
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ○統合中学校実施設計 ○統合中学校グラウンド等整備工事 ○統合中学校造成等工事 ○統合中学校敷地立木伐採工事 ○中学校統合準備委員会の開催(1回) ○小・中学校適正配置計画変更版策定 	
事業費 (決算額)	平成 28 年度	* 参 考	平成 27 年度
	273,513 千円		平成 26 年度
			24,419 千円
			1,566 千円

項目別点検評価 (*評価基準～A:順調 B:概ね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	A	予定どおり工事・設計を行うとともに、適正配置計画変更版を策定した。
効果度	A	統合中学校の環境整備を図り、教育環境の向上に寄与した。
今後の取組		
課題	新築を計画している小学校統合を円滑に進めるため、小学校統合準備委員会を早期に立ち上げ、協議・検討を重ねる必要がある。	
改善策	市内の児童数の推移を把握しながら、市内1校体制も視野に協議・検討を行う。	

総合評価 (*評価基準～①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
②	理由: 年次計画どおりの執行を目指し、継続して統合準備を行う。

平成 28 年度 事務事業点検評価シート

大項目	学校教育の充実	所管課係名	学校教育課学校教育係
事業名称	高校通学費等助成		
年度目標	目標値	*数値目標がある場合記入	
	目的	高等学校等に就学している生徒の通学費等の一部を助成するための支援金(月額5,000円)を保護者に交付し,その負担軽減を図る。	
実績	実績値	*数値目標がある場合記入	
	内容	○生徒1人につき月額5,000円を原則四半期ごとに交付 ・支給人数 207人(延べ756人) ・支給総額 12,655,000円	
事業費 (決算額)	平成 28 年度	* 参 考	平成 27 年度
	12,655 千円		平成 26 年度
			千円

項目別点検評価 (*評価基準~A:順調 B:概ね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	A	平成28年度の新規事業として,円滑に執行した。
効果度	A	高校等に通学する生徒の保護者の負担軽減に寄与した。
今後の取組		
課題	他の子育て支援施策とともに定住促進等にどの程度効果があるか,その検証を行う必要がある。	
改善策	支援金月額の適正について,今後検討する必要がある。	

総合評価 (*評価基準~①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
②	理由: 平成28年度からの新規事業のため,当面同じ内容で継続する。

平成 28 年度 事務事業点検評価シート

大項目	学校教育の充実	所管課係名	学校教育課総務係	
事業名称	奨学資金貸付金返還金免除(人材育成・定住促進奨学金)			
年度目標	目標値	*数値目標がある場合記入		
	目的	高校・大学等を卒業後、赤平市に居住し就労する方の奨学資金の返還を免除することにより、市内企業への就職、定住を促進することを目的とする。		
実績	実績値	*数値目標がある場合記入		
	内容	28年度新設の「赤平市人材育成・定住促進奨学金」に規定を設け、卒業後1年を経過した際の居住・就労状況により、返還金を免除する。 ○人材育成・定住促進奨学金の貸与 ・貸与人数17名(高校生4名, 専門学校生8名, 大学生5名) ・貸与金額(高校・高専は月額2万円以内, 専門学校・大学等は月額4万円以内) ○返還免除の要件～市内に居住し市内企業等に就労した場合は全額免除, 市内に居住し市外企業等に就労した場合は半額免除 ○返還免除は28年度卒業者の就労状況等により, 30年度から実施。		
事業費 (決算額)	平成 28 年度	* 参 考	平成 27 年度	平成 26 年度
	6,840 千円		千円	千円

項目別点検評価 (*評価基準～A:順調 B:概ね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	A	平成28年度の新規事業として、円滑に執行した。
効果度	A	将来赤平市に定住を指向する学生の学資金に対し援助できた。
今後の取組		
課題	平成30年度に返還が開始されて以降、返還免除の割合等の実績から、本事業が市内定住促進にどの程度寄与するものであるかを検証する必要がある。	
改善策	更なる制度の周知徹底を図るとともに、効果・検証の状況によっては、制度の見直しを図る必要がある。	

総合評価 (*評価基準～①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
②	理由: 平成28年度からの新規事業であり、実施効果の検証も平成30年度以降となることから、当面同じ内容で継続する。

平成 28 年度 事務事業点検評価シート

大項目	学校教育の充実	所管課係名	学校教育課学校教育係
事業名称	ICT活用教育		
年度目標	目標値	*数値目標がある場合記入	
	目的	ICT機器を活用する情報能力を育み, 学習の共有, 学習意欲とともに思考力・判断力などの向上につなげる。	
実績	実績値	*数値目標がある場合記入	
	内容	タブレット端末等のICT機器を導入したことにより, 校内研修を行いながら, 授業におけるICT機器を活用した授業を展開した。	
事業費 (決算額)	平成 28 年度	* 参 考	平成 27 年度
	1,545 千円		平成 26 年度
			500 千円
			千円

項目別点検評価 (*評価基準~A:順調 B:概ね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	A	随時導入を図り, 予定どおり実施できた。
効果度	B	小中学校に配置し, 授業で活用が図られた。
今後の取組		
課題	学力向上の施策のひとつとして, 引続き情報活用能力の向上に努める。	
改善策	ICT端末を用いた授業を検証しながら, 学力向上を目指す。	

総合評価 (*評価基準~①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
②	理由: 重要課題であることから継続して取り組む。

平成 28 年度 事務事業点検評価シート

大項目	社会教育の推進	所管課係名	社会教育課社会教育係
事業名称	青少年教育		
年度目標	目標値	*数値目標がある場合記入	
	目的	青少年教育の振興、健全育成や非行防止にかかる活動を助長するため、青少年育成事業を実施するとともに、各地区交流の推進やリーダー養成などを通じ児童・生徒の体験活動等を支援・奨励する。	
実績	実績値	*数値目標がある場合記入 ・青少年健全育成事業(夏季スポーツ中止、冬季19名減、かるた7名減) ふるさと少年教室の開講(延べ40名減)・あかびら子どもまつりの実施(子ども50名減)	
	内容	○青少年育成健全事業の実施 冬期スポーツ大会(60名)・百人一首大会(8名) ○ふるさと少年教室の開講 計5回(延べ75名) ○あかびら子どもまつりの実施 子ども230名、大人150名参加。出店した「村」の数は6村。	
事業費 (決算額)	平成 28 年度	* 参 考	平成 27 年度
	17 千円		平成 26 年度
			78 千円
			63 千円

項目別点検評価 (*評価基準～A:順調 B:概ね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	C	参加者数が前年度実績を下回った。
効果度	B	参加した子どもたちや指導者については、実践・交流などを通じ意義が伝わった。
今後の取組		
課題	少子化の影響により参加児童は減少傾向に有り、また、学校統合により地域の育成会活動も停滞している。	
改善策	更なる学校統合にあわせ、育成会組織の統合・再編や、学校との連携などを図る必要がある。	

総合評価 (*評価基準～①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
③	理由: 夏季スポーツ大会を軸に、事業の精選や見直しの検討をする。

平成 28 年度 事務事業点検評価シート

大項目	社会教育の推進	所管課係名	社会教育課社会教育係
事業名称	出前講座		
年度目標	目標値	*数値目標がある場合記入	
	目的	子どもから高齢者まで幅広く、また気軽に学習できることを目的に、一定の人数の市民に対し、出張講座(出前講座)を実施し、生涯学習社会の実現を図る。	
実績	実績値	*数値目標がある場合記入 ・出前講座数 46講座 ・受講者数 22件 657名(27年度16件 396名)	
	内容	主な講座の受講者数等 ・炭鉱遺産を訪ねて 6件 185人 ・消防署見学 4件 245人 ・認知症サポーター養成講座 4件 83人	
事業費 (決算額)	平成 28 年度	*参考	平成 27 年度
	0 千円		0 千円
			平成 26 年度
			0 千円

項目別点検評価 (*評価基準～A:順調 B:概ね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	B	受講者数が前年度実績を上回った。
効果度	B	様々な学習を通して知識の向上を図ることが出来た。
今後の取組		
課題	小中学校の学習や町内会や市内グループの研修として利用されているため、学校の授業やその他研修の多い年等により受講者数が左右される。	
改善策	その他の学習活動等での利用や団体等の利用のさらなる促進のため、市民のニーズに答えた講座の見直しや、周知方法を検討する。	

総合評価 (*評価基準～①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
②	理由: 生涯学習社会の実現を図るため継続して事業を実施する。

平成 28 年度 事務事業点検評価シート

大項目	社会教育の推進	所管課係名	社会教育課
事業名称	社会教育施設等の充実		
年度目標	目標値	*数値目標がある場合記入	
	目的	【社会教育施設】市民の主体的な活動を通して交流を促進し、もって地域経済の活性化及び生涯学習の推進を図る。 【体育施設】市民の心身の健全な発達とスポーツ活動の普及及び推進を図る。	
実績	実績値	*数値目標がある場合記入 各施設の利用状況等～巻末資料のとおり	
	内容	○社会教育施設(図書館を除く) ・交流センターみらい ・東公民館	○体育施設 ・総合体育館 ・市民プール ・虹ヶ丘球場 ・スポーツセンターテニスコート ・パークゴルフ場(赤平)
事業費 (決算額)	平成 28 年度	*参考	平成 27 年度
	80,227 千円		平成 26 年度
			80,227 千円

項目別点検評価 (*評価基準～A:順調 B:概ね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	B	事業参加者数が前年度実績を上回った。
効果度	B	利用者が減少傾向にあるが、概ね有効に利用されている。
今後の取組		
課題	施設の老朽化に伴い、利用者に支障が出ないように計画的な修繕が必要。	
改善策	広く市民の活動の場として、利用しやすいよう努力に努め、各種行事の企画や利用者のための施設の充実を行う。	

総合評価 (*評価基準～①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
②	理由: 施設環境を充実させながら、継続していく。

平成 28 年度 事務事業点検評価シート

大項目	社会教育の推進	所管課係名	社会教育課文化財保護係
事業名称	文化財保護		
年度目標	目標値	* 数値目標がある場合記入	
	目的	地域の歴史・文化を物語る郷土資料を保存・活用し、教育や郷土理解に資するほか、郷土資料の中で特に価値の高いものを文化財として保護していく。	
実績	実績値	* 数値目標がある場合記入	
	内容	○文化財保護委員会議(年1回、平成29年3月23日、委員3名出席) ・文化財保護事業報告 ○郷土資料の保護・普及 ○指定文化財の保護管理 ○埋蔵文化財包蔵地の保護～文化財パトロール、工事立会等により確認 ○炭鉱遺産の保存・管理 ・旧住友赤平炭鉱施設の保存・管理 ・炭鉱遺産の公開(立坑 688名、自走枠 534名、資料館 198名)	
事業費 (決算額)	平成 28 年度	* 参 考	平成 27 年度
	6,238 千円		86 千円
			平成 26 年度
			1,419 千円

項目別点検評価 (* 評価基準～A:順調 B:概ね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	B	見学者数が前年度実績を上回った。
効果度	B	郷土資料の活用・教育・普及について一定の効果を上げることが出来た。
今後の取組		
課題	・学芸員による出前講座や炭鉱遺産公開について、利用人数の拡大に向けて工夫・検討が必要。 ・炭鉱遺産公園基本構想に基づいて、炭鉱遺産の文化財化を念頭に置きながら、適切な年次計画・方針を策定し実施していくことが課題である。	
改善策	・炭鉱遺産の中長期的な保存・活用方針について、文化庁や道教委の指導・助言を仰ぎながら、文化財化検討委員会での議論を踏まえて適切な方針・計画を策定する。	

総合評価 (* 評価基準～①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
②	理由: 概ね一定の成果を挙げていることから、更なる施策の展開に向けて今後も取り組みを展開する。

平成 28 年度 事務事業点検評価シート

大項目	社会教育の推進	所管課係名	社会教育課図書館図書係
事業名称	図書館の運営と読書活動		
年度目標	目標値	* 数値目標がある場合記入	
	目的	利用者のニーズや時代に即したサービスを提供するため図書館サービスの拡充を図るとともに、効果的で適切な管理運営を行い、図書館が持つ機能を活かした事業等の実施によりサービスを向上し、読書活動の推進を図る。	
実績	実績値	* 数値目標がある場合記入	
	内容	<p>○蔵書数 54,735冊(平成28年度末現在) (H28購入～一般図書1,155冊, 児童図書753冊, 計1,908冊)</p> <p>○会館日数及び利用者数 237日, 5,314人(1日平均22.4人)</p> <p>○年間貸出冊数】23,641冊(1日平均99.8冊)</p> <p>・ブックスタート事業～10ヶ月相談時の乳児を対象に絵本を提供し、赤ちゃんと保護者がふれあうきっかけを作る。</p> <p>・絵本読み聞かせ事業～幼児を対象に毎月、職員により絵本などを用いて読み聞かせを実施。</p> <p>・読書感想文コンクール～小・中学生を対象に実施。</p> <p>・古本フェスタ～寄贈いただいた古本や不用となった図書、実用書、雑誌を除籍処分し、市民に無償提供した。</p> <p>・朗読とギターの響き～朗読や音楽を聴くことによって脳幹が活性化され、自律神経の動きや基本的な生活リズムを安定させ、癒しの効果が得られた。</p>	
事業費 (決算額)	平成 28 年度	* 参 考	平成 27 年度
	7,062 千円		平成 26 年度
			7,349 千円
			6,669 千円

項目別点検評価		
達成度	B	1日平均利用者数が前年度と比較して、若干増加した。
効果度	B	読書週間事業、家読啓発事業などの実施により新規の利用者や徐々に図書館を活用される方が徐々に増えてきている。
今後の取組		
課題	人口減少や少子高齢化等に伴い利用者が自然減少の傾向にある。	
改善策	従来から実施している移動図書館の拡充や、配置図書等のPRに努める。また、家族で図書館を利用する家読の習慣化を目指し、特に乳幼児児童生徒とその保護者に対するPRを図っていく。	

総合評価 (* 評価基準～①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
②	理由: 読書環境を充実させながら、継続していく。

平成 28 年度 事務事業点検評価シート

大項目	社会教育の推進	所管課係名	社会教育課社会体育係	
事業名称	体育, スポーツ活動			
年度目標	目標値	* 数値目標がある場合記入 各事業の参加者が前年度実績を上回る。		
	目的	子どもからお年寄りまで, スポーツを通して, 心身ともに健康で豊かなライフスタイルを築く生涯スポーツ社会の実現をめざす。		
実績	実績値	* 数値目標がある場合記入 前年度実績より増加～子ども体力測定会・走り方教室, ミニバレーボール大会, 市民スマイルウォーキング, 軽スポーツ大会 前年度実績より減少～一般水泳教室, 子ども水泳教室, ニュースポーツ大会		
	内容	【スポーツ・レクリエーションスポーツ大会】 ・ミニバレーボール大会～参加者 67名(16チーム) ・軽スポーツ大会～参加者 32名 ・ニュースポーツ大会～参加者 23名 【スポーツ教室】 ・フットサル教室～参加者22名 ・一般水泳教室～参加者7名 ・子ども水泳教室～参加者20名 ・バレーボール教室～参加者32名 【北翔大学との包括連携事業】 ・子ども体力測定会・走り方教室～参加者44名 ・市民スマイルウォーキング～参加者50名		
事業費 (決算額)	平成 28 年度	* 参 考	平成 27 年度	平成 26 年度
	629 千円		720 千円	585 千円

項目別点検評価 (* 評価基準～A:順調 B:概ね順調 C:見直し・改善 D:休止・廃止の検討)		
達成度	C	前年度実績と比較して, 事業によっては参加者が減少している。
効果度	B	各種大会やスポーツ教室に参加された方からは, 概ね好評を博している。
今後の取組		
課題	年々参加者が減少している。	
改善策	参加者からの声を活かすことで大会の充実を図りながら, 各種大会等の参加者の増加と定着化に努める。また, 子どもたちを対象としたスポーツ教室等を実施し, スポーツの楽しさを体験してもらい, さらに技術の向上を図る。	

総合評価 (* 評価基準～①拡充 ②継続 ③一部改善 ④大幅改善 ⑤休止・廃止)	
②	理由: 周知及び実施方法を再検討して, 参加者の増加を図る。

《資料》

教育施設利用状況

【交流センターみらい】

区分	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	対前年比
利用者数 (人)	H 25	4,853	4,616	4,995	2,164	10,226	4,877	7,757	4,162	1,825	4,642	3,243	2,199	55,559	
	H 26	3,674	2,350	2,582	3,748	7,154	4,237	15,903	3,652	1,999	6,632	2,934	7,828	62,693	113%
	H 27	2,896	3,288	4,410	4,213	5,911	4,192	15,658	3,374	1,737	6,044	3,453	2,000	57,176	103%
	H 28	5,656	3,085	3,963	2,264	5,201	5,899	5,887	3,021	2,700	6,605	3,373	4,599	52,253	83%
使用料 (円)	H 25	234,145	159,980	237,630	152,115	223,755	155,060	202,530	289,950	171,840	270,345	190,870	603,165	2,891,385	
	H 26	127,415	177,250	153,220	171,240	151,115	103,960	237,445	242,250	219,740	191,935	178,985	597,190	2,551,745	88%
	H 27	230,320	204,445	219,125	195,375	145,690	116,790	231,890	259,945	214,505	265,965	170,865	613,055	2,867,970	99%
	H 28	140,685	240,585	235,675	136,635	118,510	223,970	230,070	240,610	311,940	185,225	187,600	682,270	2,933,775	115%

【東公民館】

区分	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	対前年比
利用者数 (人)	H 25	806	700	804	895	932	674	921	1022	641	654	836	1,506	10,391	
	H 26	833	812	629	1012	918	901	1000	932	828	812	764	1,398	10,839	104%
	H 27	1,232	505	831	657	1,065	887	846	596	644	524	971	1,446	10,204	94%
	H 28	676	755	696	745	1,050	661	576	694	446	367	995	1,036	8,697	85%
使用料 (円)	H 25	51,724	41,035	32,533	25,165	29,763	39,050	68,650	54,538	68,204	52,520	51,189	58,442	572,813	
	H 26	44,620	38,460	49,375	31,835	34,595	26,119	57,640	41,937	69,780	41,708	67,294	62,917	566,280	99%
	H 27	18,828	45,678	30,435	18,450	24,475	23,564	46,348	34,712	59,136	36,153	52,958	53,662	444,399	78%
	H 28	7,882	38,190	25,500	21,840	33,014	24,089	32,752	35,624	43,524	30,429	36,086	54,638	383,568	86%

【図書館】

区分	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	対前年比
利用者数 (人)	H 25	475	470	490	530	506	551	485	467	431	377	411	478	5,671	
	H 26	420	399	449	514	519	462	464	505	442	390	384	449	5,397	95%
	H 27	382	381	443	557	444	387	444	468	402	417	399	439	5,163	96%
	H 28	446	474	458	492	401	505	410	441	467	416	399	405	5,314	103%
貸出数	H 25	1,903	1,866	1,780	2,064	1,948	2,039	1,907	2,053	2,192	1,605	1,700	2,034	23,091	
	H 26	1,694	1,675	1,752	2,040	2,156	1,931	1,873	2,196	1,911	1,633	1,652	1,964	22,477	97%

(冊)	H 27	1,761	1,622	1,748	2,090	1,829	1,694	1,856	1,928	1,827	1,921	1,810	1,840	21,926	98%
	H 28	2,060	2,060	2,082	1,991	1,918	2,018	1,727	2,007	2,259	1,763	1,798	1,958	23,641	108%

【総合体育館】

区分	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	対前年比
利用者数 (人)	H 25	11,414	1,484	797	2,780	1,810	2,281	1,962	2,892	2,454	2,609	2,131	2,825	35,439	
	H 26	13,112	1,452	1,766	1,798	1,940	2,925	1,996	3,657	2,205	2,410	2,304	3,527	39,092	110%
	H 27	12,635	1,308	1,659	1,492	1,566	2,537	2,028	3,020	2,311	2,385	2,587	2,760	36,288	93%
	H 28	12,194	1,780	1,897	1,627	1,715	2,494	5,580	3,158	2,772	2,325	2,413	3,198	41,153	113%
使用料 (円)	H 25	79,444	90,160	52,540	92,045	87,200	189,240	98,790	105,059	115,923	142,558	139,912	183,468	1,376,339	
	H 26	105,804	98,180	83,730	87,490	92,160	167,480	109,110	416,062	157,184	144,934	156,722	196,096	1,814,952	132%
	H 27	82,574	72,110	106,250	90,770	70,120	314,690	123,430	166,223	215,238	154,356	172,704	210,442	1,778,907	98%
	H 28	104,238	104,885	97,100	82,780	82,100	353,310	162,890	187,774	206,418	148,332	155,974	150,696	1,836,497	103%

【市民プール】

区分	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	対前年比 (%)
利用者数 (人)	H 25			2,121	3,422	3,061	1,110							9,714	
	H 26			1,826	2,909	2,574	1,200							8,509	88%
	H 27			1,707	3,292	2,681	977							8,657	102%
	H 28			1,499	3,177	2,723	844							8,243	95%
使用料 (円)	H 25			265,250	224,500	144,700	67,450							701,900	
	H 26			263,500	160,450	157,500	87,000							668,450	95%
	H 27			293,500	152,950	150,600	75,950	8,250					△2,000	679,250	102%
	H 28			227,500	188,550	165,350	45,300							626,700	92%

【虹ヶ丘球場】

区分	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	対前年比 (%)
利用者数	H 25		439	830	390	695	340	320						3,014	
	H 26		136	772	253	213	338	130						1,842	61%

(人)	H 27		471	548	697	168	116	105						2,105	114%
	H 28		820	158	301	235	683	273						2,470	117%
使用料 (円)	H 25		4,950	5,400	7,795	10,635	6,425	0						35,205	
	H 26		1,575	7,875	4,295	7,240	3,065	3,975						28,025	80%
	H 27		2,475	10,775	8,340	2,495	1,700	3,375						29,160	104%
	H 28		4,950	8,450	8,600	5,785	14,515	4,725						47,025	161%

【スポーツセンターテニスコート】

区分	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	対前年比 (%)
利用者数 (人)	H 25		52	158	335	242	164	119						1,070	
	H 26		624	589	723	597	573	215						3,321	310%
	H 27		588	553	546	374	290	301						2,652	80%
	H 28		661	313	640	571	462	274						2,921	110%
使用料 (円)	H 25		11,850	6,750	15,150	7,950	4,350	3,450						49,500	
	H 26		18,900	17,100	10,200	7,500	20,850	10,050						84,600	171%
	H 27		16,950	32,100	10,650	25,950	14,700	14,100						114,450	135%
	H 28		27,450	15,450	18,600	16,200	46,200	20,250						144,150	126%

【パークゴルフ場（赤平）】

区分	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	対前年比 (%)
利用者数 (人)	H 25		26	48	656	954	1,003	913						3,600	
	H 26		820	1,030	1,270	1,094	857	1,213						6,284	175%
	H 27		1,255	1,209	1,145	1,000	1,084	1,080						6,773	108%
	H 28		1,264	1,223	1,264	672	0	0						4,423	65%
使用料 (円)	H 25														
	H 26														
	H 27														
	H 28														